

広 報

ふじがわ

2 月 号 昭和60年 2 月 20 日 発行 No. 2 8 3

町 の メ モ

昭和60年 2 月 1 日 現在	
人 口	16,995人
増 減	+10人
男	8,351人
女	8,644人
世帯数	4,393世帯
面 積	31.09km ²

富士川町 総務課



きょうは
かわいい鬼がヒーロー!

(本通り保育園豆まき)

町のここの目標
「笑顔であいさつ明るいまに」

おもな内容

- 2～3 ページ 県営住宅団地造成工事進む
- 4～5 町のわだい…文化財特別展講演会が盛大に、郡駅伝競走大会、金丸山広場造成工事完成
- 6～7 広報ディスカッション
- 8～9 ママさん記者が取材中「松野地区子ども会育成連合会」社会教育の課題、マンガ
- 10 戸籍の窓、一里塚、お母さんの知恵袋、富士川短歌会

昭和60年 各区のここの目標

- 「名前を呼んで一声を」 (木島)
- 「家庭でもおはよう、おやすみは必ず交そう忘れずに」 (室野)
- 「広げよう親睦の和」 (相生町)
- 「健康第一」 (上町)

ふるさとづくりに一役

県営住宅団地造成工事進む

昭和61年秋ごろから分譲開始

松野地区の中野で、静岡県企業局(岡田正之局長)による大規模な県営住宅団地造成事業が行われています。この事業は、みなさんが快適な住宅団地を適正な価格で求められるようにと、昭和55年から用地約十九万四千平方メートルの取得を開始し、地権者など地元関係者の協力を得て、58年度から本格的な造成工事を始め、61年秋ごろの分譲を目指し、急ピッチで工

事が進められています。この計画には、自然に恵まれた松野地域の環境を最大限に生かし、地域との調和を十分に考え、購入者の「ふるさとづくり」に一役を担う区画づくりが取り入れられています。今月号では、造成工事も順調に進み、分譲開始を間近にしたこの事業の概要について、みなさんにお知らせします。

中野地区の総合的な開発を考えると、静岡県企業局は、昭和38年から宅地需要に対応するために宅地開発整備事業に着手し、これまでに富士市富士見台団地や富士宮市星山団地など、十四市町村で、十七カ所約四百二十五ヘクタール(四百二十五万平方メートル)の宅地造成を手掛け、約一万六千戸の住宅用地を供給してきました。

町では、畑や山林などになっている広大な中野地区の将来に亘る総合的な開発や有効な土地利用を考えていましたので、この整備事業に着目し、昭和55年度誘致しました。この土地は、標高五十〜五十五メートルの台地状の平坦地で、東側、北側には富士川が流れ、北西側は富士松野区に接し、また、幼

60年度は終末処理場建設が

地権者など地元関係者の協力を得て、用地買収を進めながら、盛土、切土、道路建設、上・下水道工事など造成工事は順調に進み、約七十割が完成しました。60年度は、分譲開始をひかえ残地の造成、公園整備、終末処理場建設工事などの工事が急ピッチで進められて行きます。この団地造成のために、事業費約四十七億円が見込まれています。

この団地には、地域の自然を生かし、居住者の健康づくりを考え、富士川流いにジョギングな

分譲開始は

61年秋ごろから

分譲される土地は約四百五十区画で、一区画平均約七十坪(二百三十平方メートル)です。(分譲価格は未定) この土地は、昭和61年秋ごろから計画的に分譲が行われていきます。

健康と躍動をテーマに六十二年分譲を開始、二期待ください。ただきまして、現在昭和61年度分譲開始を目前に工事を実施しております。当団地の開発につきましては、これまでの経験をもとに地元の皆様方のご意見を参考にしながら、「美しく住み良いまちづくり」を計画いたしました。県民の皆様方に住み良い宅地をお求めやすく提供することが、公営企業として、重要な使命であると考えておりますので、より一層のご協力をお願い申し上げます。

処理場建設や公園整備などを残すばかりとなりました。豊かな富士川の清流、富士山の景観などはすぐれ、住宅用地としてすばらしい土地です。昭和61年秋ごろには分譲が開始されますので、住宅用地を希望されます方は、ぜひお求めいただきたいと思っております。今後、造成工事などで、みなさんに色々とご迷惑をおかけすることもあると思っておりますが、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。



造成工事進行中

団地に名前を

つけてください

- 呼びやすく、親しみがあり、住む人が「ふるさと」としたくなるような名前をつけてください。
1、「〇〇団地」と記載し、名前の説明もお願いします。
2、提出は、富士川町役場総務課へ、3月15日(金)必着でお願いたします。
3、選考は、富士川町と静岡県企業局で行います。
4、採用になった方には、記念品をお贈りします。
5、選ばれた名前は、団地名以外に、町名(班名)、地名として使用させていただきます。

県営住宅用地 完成予想図



Table with 4 columns: 区分 (Category), 面積㎡ (Area in sqm), 比率% (Ratio %), 備考 (Remarks). It details the breakdown of land use including residential, utility, gas base, roads, and parks.



静岡県企業局長 岡田正之

健康と躍動をテーマに六十二年分譲を開始、二期待ください。ただきまして、現在昭和61年度分譲開始を目前に工事を実施しております。当団地の開発につきましては、これまでの経験をもとに地元の皆様方のご意見を参考にしながら、「美しく住み良いまちづくり」を計画いたしました。県民の皆様方に住み良い宅地をお求めやすく提供することが、公営企業として、重要な使命であると考えておりますので、より一層のご協力をお願い申し上げます。

県営住宅団地造成事業に協力ありがとうございます



富士川町長 常葉雅文

自然に恵まれた松野地域の総合的な土地利用を考え、昭和55年度静岡県企業局の住宅団地造成事業を誘致いたしました。団地買収は、地権者など地元関係者の深いご理解により、ほぼ予定地を買収することができました。造成工事も順調に進み、終末

町の歴史資料が一堂に文化財特別展・講演会が盛大に

1月25日から1月28日の四日間、協会の稲垣甲子男氏(堺町)が、老人憩の家(小車荘)で、町教育「富士川町の古代を発掘する」と委員会・文化財保護審議会主催の「文化財特別展」が、また、同展にあわせ「特別講演会」が26日第二小・中学校で、27日松野児童館で開催されました。

特別展や講演会は、文化財防火デー(1月26日)にあわせ、町内所在する貴重な文化財資料の保護と愛護をみなさんに再認識してもらうことなどを目的として行われました。

同展開催中には約八百人の見学者が訪ずれ、写真展示された建造物や彫刻など十四の町指定文化財、町内の九遺跡から出土した石器や土器などの町指定考古資料、民俗資料館収蔵物の照明道具や紙すき用具など約百五十点の民俗資料を、一つひとつ興味深く見入っていました。

第二小学校六年生や第二中学校全校生徒を対象に、また、一般町民を対象とした講演会では、町文化財保護審議会委員・日本考古学

この講演会について、第二小の

大久保滋子さん、松尾亮・二又川将克両くんは「家の近くに大きな遺跡があったとはよく知らなかったのでびっくりしました。社会科学の授業でやらなかったことがいろいろできたし、わかりやすい説明でしたので、大変勉強になりました」と、また、学年主任の菅原先生は「子どもたちの郷土学習としての大変勉強になった講演会で、今後、町の歴史をコーナーをつくり年表や写真で掲示していきたい」と、また、第二中教頭の山本先生は「郷土の資料を取り入れた授業を続けていきますので、町の歴史を更に深く知るとい意味でも大変参考になった講演会でした」と感想を話していました。



興味深く見入る見学者



青年・二小Aチーム優勝

郡駅伝競走大会で

2月3日(第二十三回庵原郡駅伝競走大会) (郡陸上競技協会主催、郡連合青年団・中学校体育連盟・三町体育協会協賛) が、小学校から一般チームまで三十三チームが出場し、三町十五・六歳、六区間のコースで行われました。

三十三チームの選手は、午前10時由比駅前を一齐にスタート、当町の八坂神社入口を折り返し、ゴールの蒲原町役場をめざし、コースの沿道にかけつけた三町民の声援を受け、一般、青年・中学・少年・女子の部で抜きつ抜かれつの熱戦をくりひろげました。

◇一般の部 二位 富士川一般A

◇青年の部 一位 富士川青

年 二位 一中小A

◇中学の部 一位 二小A

二位 一小A

◇少年の部 一位 二小B

二位 二小

三位 一中小



声援を受けて次の選手に

町の

わだい

九チームが出場し 松野地区子ども会駅伝大会が盛大に

マラソン日和に恵まれた1月15日、松野地区子ども会育成連合会(影島克美会長) 主催による「第二十四回松野地区子ども会駅伝大会」が、松野地区十二・七四五歳のコースで行われました。

同大会は、マラソンを通して、健康な体づくりを進めることや地区子ども会ごとの親睦を深めることなどを目的として行われました。

当日出場した九チーム(三年生から六年生、二百三十四人)の選手は、顔をまっ赤にしなが



ガンバレ選手!!

その結果、富士松野地区Aチームが四年連続優勝しました。

- ◇一位 富士松野A
- ◇二位 八幡町
- ◇三位 大北町

一小で元気いっぱい

校内マラソン大会が

恒例となった町立第一小学校(中村助次校長・児童千三十七人)の「校内マラソン大会」が、1月26日(土)同校の通学路などを使って、一年生一・二歳から五・六年生男子四・四歳の距離で行われました。

同大会は、児童の体力・意志力の増強をはかることや今年度の重点目標「力いっぱいやりぬく」を実践を通し高めることなどを目的として行われました。



ゴールをむきし力走

子どもたちは、日ごろの練習成果を發揮し、寒さを吹き飛ばしながら、また、かけつけた父母などから暖かい声援を受けながら力走しました。

金丸山広場

造成工事完成

みなさんの憩の場として、また、青少年団体やグループの野外活動の増として、昨年9月から事業費約三千万円で整地や施設工事を進めてきた「金丸山広場」が、一月末に完成しました。

同広場完成に伴い、すでに整備が完了している大師広場、万葉広場、展望台広場とは、幅員一・五m、延長約四歳の遊歩道で結ばれました。

総面積約一万七千平方メートルの同広場内には、約四千平方メートルの芝生広場や約三平方メートルのキャンプサイト、バーベキュー広場とともに、便所、東屋、展望台、給水施設が作られました。

同広場や丸太で作られ高さ四・五mの展望台からの見晴しはすばらしく、富士山、駿河湾が一望できます。

4月にオープンしますのでぜひご利用ください。



富士山から駿河湾が一望できる金丸山広場



希望をあたえてくれた:

四十九町 若月 巴さん(49)

人生は、長いようで短かいドラマが潜在しているような気がします。大勢の人々との出会いの中で、私にも、生涯忘れられることのできない感動の日があります。

十年間心臓病との闘いで、苦悩の日々を送り、克服した時の喜びは、何にもものにかえがたいものでした。私の精神と肉体を、弱りきっていた境地から救ってくださった命の恩人。九十九野手術は成功するといわれても、心配と不安が私の脳裏をよぎるだけ。そんな私にやさしい笑顔で、生きることの喜びと生命の尊さをお教えてくださ

た執刀医に、今は感謝の心持でいっぱいです。

それと共に、幼い頃から始めた花の道を、何んとか生かしていけたらと心に決めたのは、この頃だったと思います。

私の人生に大きな希望を与えてくださった今は亡き師の暖かいはげましの言葉にささえられ、ある時は美しい景観に心をうばわれ、ある時は野山の草花のことを語りながら師と共に楽しい旅をした思い出が、まるで昨日のことのように思われま

す。

花とともに歩んできた私ですが、これからも一人でも多くの人に、この喜びを伝えていきたいと思う、今日この頃です。

母校に植樹、

記念碑を贈りました

上町 長澤好太郎さん(63)

南に清水駿河湾
北に高山聳え立ち
巡る田の面も広々と
我等が飯田我が母校
懐かしい学びの庭に一本の大柳が春の芽ぐみに、夏の暑さに緑りの大きな日傘となって、子ども心に潤いと安らぎを幾くたび感じさせてくれたことか。

当時、野球に競技に飯田小の名を県下に響かせた恩師木下秀治先生との出会いは五年生のときから卒業まで、その卓越した指導と熱意、厳しさの中にもほろりとさせるぬくもり、心の豊かさ、良き師に会えた幸せを私は終生忘れることができません。

その恩師も時の流れで義勇軍の幹部として終戦後北滿の広野に、机をならべた十七人の友も大陸の戦陣に、また、遠く南海の波頭に万感の思いを秘めて再び帰らぬ人となりました。

昨年4月8日、卒業五十周年を記念して旧友が集まり、今は亡き友、恩師のご冥福を心から祈り、ささやかですが、三本の植樹と記念碑を母校に贈りまし

た。動乱の昭和期を生きた大正生まれの証と心と心の触れ合いに役立てたらとの願いをこめて。

いつの日か、緑り豊かな記念樹の下で懐かしい思い出に再び花を咲かせることができますように。

わが人生の「恩師」

南町一 望月清隆さん(41)

私が、学生生活から社会に一步を踏み出したのは、電々公社電気通信研究所でした。東京三鷹にある古ぼけた研究所の片隅に、私の人生観を変えた日本人ばなれをした主任がいました。今は武蔵工業大学の講師をしています。この主任から最初にいわたのがお茶くみでした。このお茶くみが、今の私を生み出したのです。毎日、主任が出勤する前にお茶を入れるのです。そのうちに、隣の部屋、向いの部屋の人たちが、私の部屋に集まるようになり、仕事の悩みや人間関係のむずかしさを話すようになりました。この人たちから教えられたのが、「年寄りの意見を大切に聞き、自分でよくかみくだくこと、人を大切にすること、自分の意見をはつ

3月のテーマ

がんばりま〜す 一年生



一六六年 古川歩さん (東町一)

4月になると中学生です。あの制服を着た時に初めて実感がわくのかも知れません。説明会の時の話を聞いていても小学生の時とはちがう感じがたくさんあると聞きました。中学生になるとたいへんだなあ。あれもこれもがんばらなくては思いました。がんばると口でいうことは楽なことです。

私はあの郡陸の練習に参加した時、苦しいな、いやだなと思ったことが何度もありました。でも、あの入場行進に出れた時、ああやってよかったと思えました。苦しいとか、いやだ、もうだめ、こういうことを自分が体で感じて、はじめてよかったと思うことができます。先生が、「がんばるとい

とは、言葉や思うことでなく、実際にやることだ」と教えてくれました。

結果はどうでも、全力でチャレンジして、自分が苦しい時、相手も苦しいので、それをやりぬいてこそ自分にも勝てるんだと思えました。

だから、中学生になっても私はやっていてよかったと思うことを中心として、がんばっていききたいと思えます。

きりいうこと」です。

あれから十数年、今では大学の教授、講師、民間企業へ移った人、研究所に残っている人、各々が自分の道を歩んでいます。お互いに当時のことが忘れられず、「グロービス」と称して年一回集まり、近況報告をするようにしています。

このグロービスこそが、私にとって明日への希望であり、人生の恩師なのです。

思い出多き

三年D組

上町 多田千鶴子さん(40)

私が生まれ育った富士川町の中心部にある第一中学校は、現在姿を変えてしまいましたが、かつてはモデル校舎で、赤いかわら屋根の木造でした。土手の松と富士山が良く映え、校庭の向こうは東海道線で、授業中に電車の警笛が聞こえました。今でも警笛を聞くと三年D組の朝の会が思い出されます。

先生的一声でクラス全員が歌い出す。一見どこにでもいる先生ですが、とてもユニークな先生。黒板のすみには、一冊のノートがぶらさげてあり、表紙にはマスコミ帳と記してありまし

た。そのノートには自分の思ったこと、言いたいこと、なんでも書きこみ、そのことに全員で話し合いました。朝の歌もマスコミ帳も先生の考案でした。昨年二十三年ぶりのクラス会があり、白髪がめつさり多くなった先生を囲み、懐かしい昔を思い出し、だれともなく肩を組み合

い、あの時の歌が流れ出しました。あの頃の中学生になりきって、沢山の思い出をつくってくださった先生も、あの歌を口ずさんでいました。夜霧のかなたに、別れを告げ雄雄しきますらを……

いつまでもお元気だと願ってやみません。

先生方の

優しいはげましの言葉

富町 太田富士子さん(40)

仰げば尊し

わが師の恩……

現在、この歌は卒業式であり聞かれなくなりましたが、三月ともなると、どこからか流れてくるような気がして、懐かしくもうら悲しく涙ぐむのは、私一人でしょうか。

わが母校は、富士川町立第一小学校、といっても当時は町立

た。そのノートには自分の思ったこと、言いたいこと、なんでも書きこみ、そのことに全員で話し合いました。朝の歌もマスコミ帳も先生の考案でした。昨年二十三年ぶりのクラス会があり、白髪がめつさり多くなった先生を囲み、懐かしい昔を思い出し、だれともなく肩を組み合

富士川小学校という名称で、旧校舎は、アルバムでしかしのぶ

今、わが家では、子ども三人が足かけ十年間もお世話になりました。この三月で末子も卒業します。私自身、小学生時代は、身体が弱くて欠席ばかりしてしまし

あ、中村先生、木伏両先生は、現在一小、由比北小の校長として活躍されていることは嬉しい限りです。

高校二年生当時の先生

富士松野 山田博子さん(32)

長い学生生活において、たくさん先生の師との出会いがありました。そして、私が今も尊敬し続けている先生にも多く巡り合うことができました。その中で、熱血漢でとても型破りな先生が一人いました。高校二年生当時

の担任で国語の先生です。

私の母校は、石川県の自衛隊小松基地のすぐ近くの高校なので、防音校舎にもかかわらず、何度も授業を中断せざるを得ないフアントム戦闘機の爆音。みんながあきらめきつた中で、先生は顔を真っ赤にして怒り、平和の尊さを、戦争の愚かさを前列の生徒に唾を吐きながらまくしたててくれるのです。そして、驚いたことに、言動一致とばかりに自衛隊に抗議に出かけました。五十歳過ぎの小柄な体のどこにこんなパワーがあるのでしょうか。当時私たちに人気のあったタレントの真似をまじめにやってみたり、亡き奥様との愛情物語を話してくださった

先生の提案でクラス全員があるお寺に泊り込み三日間漢文合宿をおこなったりなど、学ぶこと、人を愛することの大切さを折りにつけ、熱い心で説いてくださいました。

三人の子育ての毎日、向学心の灯を絶やさず、たくさん先生から得たことを大切にしていきたいと思えます。

3月のテーマ
がんばりま〜す
一年生



- ◎ 3月のテーマ
がんばりま〜す
一年生
- ◎ 字数
400字づめ原稿用紙一枚以内
- ◎ 締切り日
3月5日(火)まで
- ◎ 投稿先・問合せ先
富士川町役場総務課
岩淵12番地
- ◎ 注意事項
匿名者の原稿は掲載しませんから、必ず住所・氏名・年齢を記して、締切日までに投稿してください。

ママさん記者が取材中



「松野地区
子ども会育成連合会」

暖かいこの静岡県でもマイナス五・八度という、今冬一番の寒さを記録した1月31日(木)、私たち広報モニターは、「松野地区子ども会育成者連合会」会長の影島克美さん(南町二)にお話をうかがいました。

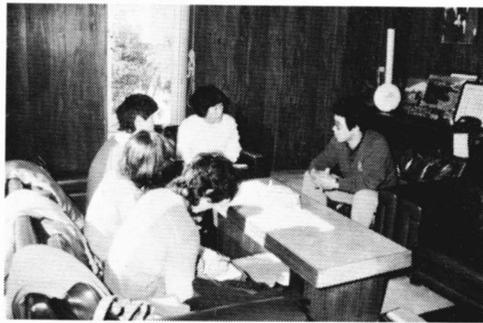
同会は、昭和58年度までは「松野地区子ども会世話人連合会」という名称でしたが、59年度から現在の名称に変わりました。会員は、松野地区八地区の子ども会役員で、本部十七人、リーダー世話人の計七十三人で組織され、一年ごとに会員の入れ替えがあります。

二十年ぐらい前までは、松野地区の青年リーダーの指導のもとに活動していましたが、ここ数年は親だけで活動しています。次に同会の主な活動を紹介いたします。

5月：球技大会、各チームとも最も熱のいる大会です。今年も練習日や時間を各チームとも統一して、学校行事に支障のないようにしました。練習参加の中で、現代の子ども社会にないといわれる「縦のつながり」ができません。大会種目のソフトボール、バレーボールが四年生から六年生対象なので、全員が参加できるようにと、今年から一年生から三年生までは玉入れゲームをとり入れられました。

昨年度は、郡大会が開かれなかったため子どもたちも励みがなく残念のようでしたが、今年度は開かれたため、同じ地区の子どもたちは、一つの目標に向かってがんばることができました。

7月：親子ゲーム大会。夏休みの暑い日で、日射病などを心配された父母もいたようですが、子どもたちはみな元気で楽しくゲームをして過ごしました。



影島会長さんにインタビューする
広報モニター

▼社会教育(地域学習)の課題▲ 高齢化社会を考える(二)

高齢化問題は、どの年齢層にあっても時間の違いこそあれ、自分自身の問題として受けとめる時が必ずきます。

人は加齢によって変わります。ある人は「人は一生を通して変革のプロセスをふむものである」といい、論語の中に「三十にして立つ、四十にして惑わず、五十にして天命を知る云々」とあります。

一般的には

- 一、円熟型
- 二、反応型
- 三、拡大型
- 四、自罪型
- 五、他罪型

といわれます。もちろん誰もが円熟型と望むのですが、中には反応型と逆になってしまったり、自罪型のように自分のせいだとよくよするようになってしまいかもしません。

その原因はいくつかあります。若い人の言動にも多くの問題があります。世相も原因です。お年寄り自身の変化も

見すせない理由です。こうした老人の心の変化がやがて独居老人という社会問題を引き起こすことは周知のとおりです。

この独居老人(心理的・潜在的を含め)の心の空白をうめなうとして事の解決にはなりません。それには老人の特性を生かした役割を果してもらうことだと思います。それは、

- 一、今まで持っていた役割をいかに軽減する役割
- 一、市民として持続する役割
- 一、これから必要な役割を見つける役割

の三つが考えられます。この軽減、持続、発見の役割がお年寄りの生きがいを生み出すものだと思います。そのためには、周囲が理解し、条件を整えていくことが不可欠となります。

高齢化問題を考える時、それを単に老人の問題として短絡に扱うことなく、やがては自分も持つことが、悲劇を最少限にいとめることになると思います。

家族で話し合おう 図解交通安全

「カーブにすむ魔物」

車がカーブを曲がる時、車体は外側に傾きながらカーブを通り抜けます。曲がる方向とは逆の方向に進もうとする力が車に働くからです。遠心力はスピードが出れば出るほど強くなり、車がその力に耐えられなくなると横転したり、反対車線に飛び出すなどして、重大事故につながります。遠心力は、いかなれば「カーブにすむ魔物」です。

このような事故を防ぐ運転技術という一要素は早めの減速です。いくら腕に自信があっても遠心力には勝てません。スピードを出しすぎて「カーブの魔物」にとりつかれないた



めにも、カーブの手前では必ずスピードを落しましょう。また、同乗者は「もつとスピードを出せ」などとドライバーをおどらしてはいけません。

町内の国道一号线、県道富士川身延線などには大変危険な急カーブが数箇所あります。1月には急カーブで二件の交通事故が発生し、同乗者が怪我をしています。みなさん十分注意しましょう。

1月の交通事故

人身事故	6件(3)	合計	8件(7)
物損事故	2件(4)		
富士川身延線	4件(1)		
国道一号线	1件(2)		
町道	2件(2)		
県道	1件(2)		
その他	0件(0)		

()は昨年



昭和57年3月13日指定
指定番号 第14号
指定物件
縄文土器、土師器、須恵器、灰釉陶器、石器、土製品

保管者 富士川町教育委員会
保管場所 富士川町歴史民俗資料館

浅間林遺跡は、富士松野区南側に位置する広大な遺跡で、現在、包蔵地はほとんど水田となっています。

この遺跡は、昭和初期から遺物の出土量の多い遺跡として知られ、戦後二回、遺跡の中心と思われる地区で小規模の発掘調査を行った結果、縄文時代晩期の雷文土器を主体とする重要な遺跡であることが確認されました。

民俗資料館に保管されている出土品は、昭和55年遺跡北端のバイパス道路建設用地を発掘調査した時のものが主であり、縄文時代の後、晩期土器、百点以上のにぼる石鏃などの石器類、平安時代と推定される土器、鉄製品などです。

とくに平安時代の土器は、七千五百点と膨大な出土量であり、この出土比を見ると、土師器八十五割、灰釉陶器十二割、須恵器二割を示しています。この土師器のうち二割は黒色土器であり、灰釉陶器のうち長頸瓶は十八割を占めています。

当町で初めて発見された墨書土器を含め未見の資料が多く、大変貴重な考古資料です。

戸籍の窓

S 60・1・151・31届出分

(敬称略)

おめでた

区名	氏名	保護者	続柄
相生町	赤堀奈津美	進吾	二女
上町	山下暁子	茂	長女
四十九町	佐野 愛	雅彦	長女
〃	吉田弘毅	正伸	二男
〃	関 崇裕	芳裕	長男
宮町	中村 彩	時男	二女
本通四	宇佐美和希	克彦	二男



幸町	太田裕弥	英司	長男
東町一	大村 理	孝雄	三男
南町一	土佐谷暢浩	栄一	二男
八幡町	増田和也	明己	二男
〃	小林将太	均	長男
〃	松本孝則	廣幸	長男
大北町	宇佐美加奈	政俊	長女
〃	佐野麻保良	静雄	長男
木 島	佐藤宗男		九二
〃	芦川守正		六四
相生町	川島四郎		七八
坂 下	後藤秀吉		七八
宮 町	浦田武子		六一
小 池	望月ひさ子		六五
〃	佐野ふと		八五
本通三	塩坂しん		九二
富士見町	久保田武男		五六
清水町	深澤百藏		九二
大北町	清 忠司		五二
〃	芦澤シカ		八四
俣下町	小川らく		八三

かなしみ

お母さんの

知恵袋

二重価格表示をたしかめて！
新聞の折り込み広告などで、「当店平常価格五千元を三千元で」「メーカー希望小売価格の三割引」「市価の半額」などの表示を見かけますが、このような実売価格と比較対照価格の二つをあわせて表示することを「二重価格表示」といいます。

この比較対照価格が、実売価格を消費者に安くみせかけるための架空で根拠のない場合、不当な二重価格表示として、景品表示法により規制されます。

一里塚



日本経済が高度成長時代に入ると、物は使い捨てという悪い習慣が生まれ、その結果、各家庭、企業から搬出されるゴミの中から粗大ゴミというものが多く見られるようになった。

と共にゴミの量も増加の一途をたどり、処理施設の問題や経費の増加につながり、自治体では

大きな問題として発展してきました。当町においても年々ゴミの量は増加しており、ゴミ施設の問題とからめて解決していかなければなりません。燃えるゴミはある程度各家庭に処理をまかせ、生ゴミの土壌への還元や水切り運動によりゴミの量を少なくし、不燃物は分別収集を行うことも必要かとも思います。

これらのことを考えると、ゴミの量は少なくなりゴミの再利用も考えられます。町民自からゴミについて考えなければ、これからの明るい町づくりは成り

立ちません。ゴミは行政のみが解決しようとしても住民の協力がなければできません。各町内会を通じて、ゴミの省力化、ゴミの再利用を考える施策をみんでいます。

おわび

本紙12月号「戸籍の窓」欄で、太田佳佑ちゃんを桂佑ちゃんと、また、2月号「はたちに思」欄で、深沢美和子さんを美知子さんと誤記し掲載しましたので、深くおわびし訂正させていただきます。

単に「五千元を三千元」のみでは、どういう価格から割り引きされたのか、たしかにその品が安く販売されるのか、消費者にはわかりません。

チラシ広告は、毎日の買物の情報です。「五割引」というだけの表示では、どのような価格からの割り引きなのか確認することが大切です。また、「倒産品」「全品投げ売り」といった表示のみにもまどわされないので、確かな目を持ち、バーゲンチラシを正しく読みとり、上手な買い物をしたいものです。

富士川短歌会

一月詠草 (天野寛選)

四十九町 辻 すみじ
年輪を重ねし柵曾祖父の植ゑに
しものよ明治二十七年に

宮町 荻野 敏音
しげる葉の中に重なり合いて咲
くびわの大樹は冬畑に立つ

四十九町 塩川 恒子
蓋練ればゆずの香は満つ浴槽に
めぐらして居り過ぎ来し一年

本通一 長橋 安子
病むわれの肩もみくるる俣かも
四方山ばなしに花咲かせつつ

四十九町 入月 弘子
き庭辺の日陰に生うる万両の朱
きつばら実初春(はる)を彩る

上町 望月 晴子
庭に取りし柚子を多目の風呂に
入れ香りききつつ双子とひたりぬ

相生町 望月 侑子
ただ一夜あらたまるだけの新年
に七十路の重み感じる吾は

相生町 長谷川 ゆり子
年明けてわが菩提寺の新しき銅
の大屋根かがやき仰ぐ

宮町 若月 幸江
木洩れ日の明るき棚に盆栽の赤
きが愛し姫りんご三つ

四十九町 村山 越子
どんど焼の回覧板来るれんぎよ
うの二つ咲きしに気づきし朝に